

1. 実証運行の実施方針

別添【資料4.「実証運行の実施方針」1ページ】※実施要領 番号12回答関連資料

「新たな交通サービス」が果たす役割：

1. 公共交通空白地域にお住まいの方や高齢者など交通弱者の移動を確保し、もって、市民の外出機会の増進や社会活動への参加の促進など健康で豊かな生活を支える
2. 既存公共交通を補完することで市内の公共交通ネットワークの重層化並びに利便増進を図り、車から公共交通への転換を促進する

実証運行の目的：

- ① 実証運行結果（利用実績、利用者層、目的地等）の分析を行い、市民ニーズ・需要量を把握する。
- ② 公共交通空白地域における課題解決、日常生活における利便性向上などの効果を検証する。
- ③ 実証運行の実績を評価するうえで、健康まちづくり等、他分野とのクロスセクター効果を検討する。

目的を果たすための実証運行の展開方針：

- ① 実証運行エリアは、実証運行結果分析を行いながら、段階的に拡大等の検討を行う。
- ② 実証運行の実績や分析内容、市民、利用者の意見を踏まえ、必要に応じてサービスの改善を行う。
- ③ 路線バスの利用者数の変化等を分析し、路線バスとの連携による相乗効果・親和性を高める検証を行う。
- ④ デマンド交通以外の交通モードについても比較・検証を行い、本市にふさわしい交通サービスの検討する。

展開方針をよりよく遂行できるパートナー（システム、運行事業者、分析チーム）を選定

